

石西礁湖自然再生全体構想の取組状況と今後のスケジュール

取組		地域での取組の現状	自然再生協議会の動き
(1)攪乱要因の除去	1)オニヒトデ等による食害及び病気への対応	八重山地区オニヒトデ対策連絡会議を軸に、環境省、漁業者、ダイビング業者などが連携してオニヒトデ駆除活動を実践している。	環境省事業実施計画に基づきオニヒトデ駆除事業を実施中である。
	2)赤土等流出防止対策	沖縄県八重山支庁が策定した「石垣島赤土等流出防止農地対策マスタープラン」によって取組が推進されている。	陸域対策グループにより、赤土防止対策の推進について議論されている。
	3)排水等対策	生活排水対策(下水道、集落排水、合併浄化槽)、家畜排せつ物対策(石垣堆肥センター等)などの事業が進行中である。	陸域対策グループにより、水質汚濁物質の対策について議論されている。
	4)水産資源管理・漁業手法の改善	八重山漁業協同組合による海洋保護区による自主規制が進行中であり、侵入者はわずかである。	
	5)観光手法の改善	自然再生協議会「生活・利用に関する検討部会」の普及啓発の取組が始まっている。	生活・利用に関する検討部会、普及啓発グループにおいて、観光関係者に対する普及啓発が議論されている。
	6)生活スタイルの改善	石垣市商工会が生活スタイルの転換を志向した取組を行っているが、その他は個別的な取組である。	普及啓発グループにより、地域コミュニティに対する普及啓発が議論されている。
	7)漂着ゴミ対策	環境省による漂着ゴミ調査(石垣島:吉原海岸～米原海岸、西表島:住吉海岸～星砂の浜～上原海岸)で行われている。	
	8)異常気象対策	世界レベルでの地球温暖化の意識啓発が行われているとともに、サンゴ群集の保護が試みられている。	
(2)良好な環境創成	1)サンゴ礁生態系の再生	環境省事業の他、各種のサンゴ移植実験が進行している。	環境省事業実施計画に基づきサンゴ群集修復事業を実施中である。
	2)沿岸域の生態系の再生		
	3)環境に配慮した構造物の設置	港湾を中心にサンゴの移植実験が試みられている。	
(3)持続可能な海域利用	1)適切な利用の推進	自然再生協議会「生活・利用に関する検討部会」において、関係者の情報共有と意見交換が始まっている。	生活・利用に関する検討部会において、関係者の情報共有と意見交換が始まっている。
	2)保護区等の指定	環境省によって重要海域の保全のための調査・検討が進行する他、八重山漁業協同組合による海洋保護区の実施もある。	
(4)意識の向上・広報啓発	1)サンゴ礁生態系に関する一般的な理解の増進	環境省の他、様々な団体によって、サンゴ礁保全に関するシンポジウム、イベント、自然観察会、環境教育などが進行している。	普及啓発グループにより、地域コミュニティに対する普及啓発が議論されているとともに、環境省事業実施計画に基づき意識の向上・広報啓発に関する取組を実施中である。
	2)関連産業、生活等における意識の向上	石垣市商工会による取組の他、個別的な取組がみられる。	普及啓発グループにより、観光関係者や地域コミュニティに対する普及啓発が議論されているとともに、環境省事業実施計画に基づき意識の向上・広報啓発に関する取組を実施中である。
	3)観光客等の意識向上につながる観光の推進	取組の具体化に向けて、自然再生協議会 普及啓発グループでの意見交換が進行している。	普及啓発グループにより、観光関係者に対する普及啓発が議論されている。
(5)調査研究・モニタリング	1)サンゴ礁生態系の健全性の把握・モニタリング	研究者や環境省によるモニタリングが継続的に行われている。	環境省事業実施計画に基づきモニタリング調査を実施中である。
	2)社会学的調査研究	海域利用者に対する社会学的調査研究が進められている。	環境省事業実施計画に基づき利用に関する負荷対策と連携するために、利用の実態やその影響を把握するための調査を実施中である。
	3)対策手法等に関する調査研究	研究者や環境省による調査研究が進められている。	環境省事業実施計画に基づき陸域対策と連携するために、攪乱要因のモニタリング調査等を実施中である。
(6)活動の継続	1)民間による活動の推進	自然再生協議会が情報交換・交流の場となっているとともに、石西礁湖サンゴ礁基金が運用準備中である。	資金メカニズムグループが中心となり、石西礁湖サンゴ礁基金を設立準備中である。
	2)事業の評価	モニタリング結果に基づき、事業の評価の予定である。	環境省事業実施計画に評価手法の確立が位置づけられている。
	3)取り組みに関する広報	環境省の他、様々な広報が行われているとともに、自然再生協議会 普及啓発グループでの意見交換が進行している。	普及啓発グループにより議論されているとともに、環境省事業実施計画に基づき意識の向上・広報啓発に関する取組を実施中である。

<平成20年度の活動報告>

年月日	協議会・ワークショップ・部会等
2008.06.13	<p>◆第8回協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境省の事業実施計画について <u>※「石西礁湖自然再生事業環境省事業実施計画（案）」が承認される</u> ・生活・利用に関する検討部会の報告 ・テーマごとのグループディスカッション 実施計画・行動計画策定、活動に向けた討議等
2008.10.15	<p>○第4回生活・利用に関する検討部会</p>
2008.10.24	<p>◆第9回協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活・利用に関する検討部会の報告 ・テーマごとのグループディスカッション 実施計画・行動計画策定、活動に向けた討議等 <u>※「石西礁湖自然再生協議会寄付金等細則（案）」が承認される</u>
2008.10.25	<p>●国際サンゴ礁年関連イベント 「東アジアサンゴ礁保全国際シンポジウム2008」 ・東アジア周辺諸国のサンゴ礁専門家を招いたシンポジウムを開催</p>
2008.11.03	<p>○第1回普及啓発グループワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動計画に記載すべき取組内容について （観光・地域コミュニティ）
2008.12.17	<p>○第1回陸域対策グループワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動計画に記載すべき取組内容について ・今後の陸域対策グループのあり方について
2009.01.16	<p>○第2回普及啓発グループワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動計画の基本的な考え方と取組内容の仕分けについて （観光・地域コミュニティ）
2009.01.30	<p>◆第10回協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマごとのグループディスカッション 実施計画・行動計画策定、活動に向けた討議等
2009.02.23	<p>○第1回資金メカニズムグループワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基金開設までのプロセスについて ・基金事務局の検討（石垣市商工会との意見交換）
2009.03.23	<p>○第5回生活・利用に関する検討部会</p>

<平成21年度の活動計画>

年月日	協議会・ワークショップ・部会等
2009.04	◎ポータルウェブサイト公開
2009.05.21	○第2回資金メカニズムグループワークショップ ・基金事務局の検討（美ら海・美ら山募金推進協議会との意見交換） ・基金開設に係る手続き（口座、HP等）
2009.06.26	◆第11回協議会 ・今後のスケジュールについて ・環境省の事業実施計画について ・生活・利用に関する検討部会の報告 ・テーマごとのグループディスカッション
2009.07～11	○適宜ワークショップ(WS)を開催 ＜今後の予定＞ 陸域対策WS・・・2回 普及啓発WS・・・2回 資金メカニズムWS・・・1回
未定	●サンゴ礁に関連するイベントを計画中
2009.12頃	◆第12回協議会 行動計画等の取組について意見交換 等
	○適宜ワークショップ等を開催し、行動計画等の具体化を進める。